



2006年11月16日

メディシノバ・インク
取締役会長兼社長、CEO
岩城 裕一
(コード番号：4875 大証ヘラクレス)
問合わせ先 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号 03-3519-5010
E-mail info@medicinova.com

気管支喘息¹治療剤MN-001のフェーズ3臨床試験開始のお知らせ

2006年11月16日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ・インク（米国カリフォルニア州 サンディエゴ、取締役会長兼社長、CEO: 岩城裕一）は、経口の気管支喘息治療剤として開発中のMN-001について、米国でフェーズ3臨床試験を開始したことをお知らせいたします。

当社は、米国において軽度から中程度の気管支喘息患者 147 名を対象に、無作為二重盲検比較²によるフェーズ2臨床試験³を行い、2005年12月にその主要評価項目において目的とする結果（有効性、安全性）を得られたことを受けて、今回のフェーズ3臨床試験を開始いたしました。新たに開始しましたフェーズ3臨床試験では、705名の患者を対象として治療12週間後の一秒量⁴を評価し、有効性および安全性の確認を行うこととなります。

当社は、杏林製薬（本社：東京都、代表取締役社長：荻原郁夫）とのライセンス契約に基づいて、日本、中国、台湾、韓国を除く全世界におけるMN-001の独占的開発・販売権を取得しております。

なお、本臨床試験の開始によって見込まれる研究開発費は、平成18年11月9日に発表いたしました業績予想修正値に折込済みです。

以上

メディシノバ・インクは様々な疾患領域の新規医薬品の導入・開発・販売に特化する製薬企業です。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバ・インクの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法(The Private Securities Litigation Reform Act of 1995)に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、当社の製品候補開発の期待される進捗状況、ライセンス、共同研究、提携等に関する計画の見込みなどが含まれます。これらの記述は、当社の経営陣がその時の状況下において合理的であると判断して立てた前提に基づくものです。このような記述は、臨床試験の結果、共同研究候補機関の市場における影響力、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、実際の当社の業績は「将来の見通しに関する記述」に表現される、あるいは、示唆されるものと大きく異なることがあります。

【注記】

- ¹ 気管支喘息とは、気道がアレルギーなど種々の刺激に反応して炎症を起し狭くなることで呼吸がしにくくなる肺の病気です。
- ² 無作為二重盲検比較とは、患者が試験薬を投与される群とプラセボ（偽薬）を投与される群に無作為に割り振られ、このことが患者だけでなく治験に参加する医療スタッフにも知らされないで両群の結果が比較される試験方法です。
- ³ 当社が実施いたしましたMN-001のフェーズ2臨床試験の結果の詳細につきましては、当社ウェブ・ページ掲載のプレスリリース（<http://www.c-direct.ne.jp/japanese/uj/pdf/10104875/00040804.pdf>）をご参照ください。
- ⁴ 一秒量とは、呼吸機能検査の測定項目のひとつで、最大の努力で息を吐き出したときに、最初の一秒間で吐き出された息の量をいいます。これが低下すると気道が狭くなっていることを示唆します。